

# 流通とSC・私の視点

2010年5月29日

視点(1261)

日本の2030年の経済力はどうなるのか!!

日本の内閣府が5月28日に公表した「世界経済の潮流」の中で、2030年の日本経済の姿を描き出しています。私は、内閣府が公表した数字は「このままではこうになってしまう」との警告と思っています。それゆえに、我々の意識改革と根本的な経済変革による「2010年代の日本経済の奇跡」が起こると2030年の日本経済は全く異なった結果になります。

<内閣府が公表した2030年の世界経済の主要国の割合>

	2009年	2030年	備考欄
日本	8.8%	5.8%	2000年代1.4%、2020年代0.4%
米国	24.9%	17.0%	2000年代2.4%、2020年代1.6%
中国	8.3%	23.9%	2000年代10.0%、2010年代9.1%、2020年代7.9%
インド	2.2%	4.0%	現在7.2%、2020年代5.7%
ドイツ	5.7%	3.1%	
英国	3.8%	2.9%	
その他のアジア	5.4%	6.8%	
その他	40.9%	36.5%	
合計	100.0%	100.0%	

これをGDP化(今回の2030年の世界経済の潮流の中では主要国の割合のみでGDPが実数として公表していないので独自に作成する)すると次の通りです。

2009年の世界の名目GDPを600,000億ドル(主要36ヶ国合計は530,210億ドル)とし、2010年から2020年まで毎年4.0%、2021~2030年までを3.0%と仮定すると、2020年には世界の名目GDPは924,000億ドル、2030年には1,242,000億ドルとなります。このGDPを用いて内閣府の数字を当てはめると次の通りになります。

	2030年の経済力		現在 (2009年)	2009年を1とすると
	構成比	GDP		
日本	5.8%	72,036億ドル	49,107億ドル	1.47倍
米国	17.0%	211,140億ドル	144,414億ドル	1.46倍
中国	23.9%	296,838億ドル	43,270億ドル	6.86倍
インド	4.0%	49,680億ドル	12,233億ドル	4.06倍
ドイツ	3.1%	38,502億ドル	36,558億ドル	1.05倍
英国	2.9%	36,018億ドル	26,799億ドル	1.34倍
その他のアジア	6.8%	84,456億ドル	287,619億ドル	1.87倍
その他	36.5%	453,330億ドル		
合計	100.0%	1,242,000億ドル	600,000億ドル	2.07倍

このままでは、中国は日本の4.1倍となり、2025年までに中国はアメリカを追い抜くことになります。しかし日本の周りには、中国・インドを始めアジア諸国のGDPが503,010億ドルとなり、日本を7.0倍上回るマーケットが至近距離に準内需として実現します。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>+</sup>  
代表 六車秀之